



ITを使って森と未来へつなげよう

グループ名：環境ビジネス

メンバー：植田 悠一、佐藤 健、船山 哲、間瀬 美鶴子

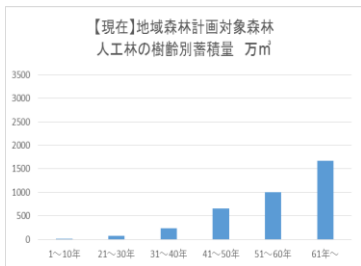
チューター：小林 敬幸、奥岡 桂次郎、藤井 芳一

現状の把握

46年生以上の樹木が65%を占め、このまま主伐対象にある樹木(概ね50年生)の伐採が適切に行われないと人工林のライフサイクルに要する期間が崩れる。

2030年なりゆき
61年生以上65%

森林の多面的機能のさらなる低下を招く懸念がある。



2030年に向けての提言の概要

森林の恩恵と木の魅力についての認識を広げ、愛知県産木材(以下「県産材」)を使った家を普及させ、森林の多面的機能の確保と家の長寿命化を浸透させるための基盤を整備する。

県産材、家に関するデータを地図情報と組み合わせクラウドシステムで蓄積、共有、活用

森林の多面的機能の確保

家の長寿命化



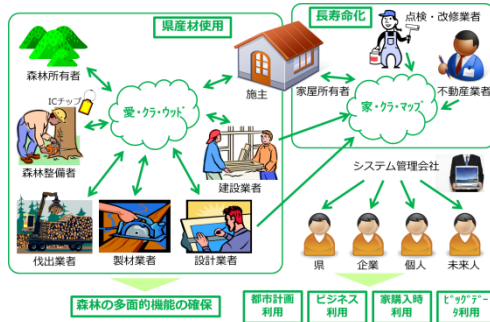
持続可能な社会の実現

提案の内容

01 戦略的プロモーション

- ① SNSを活用した多面的情報発信
- ② 県産材の家の体感を通じた理解・納得の深耕
- ③ コンテストを通じた話題作り、ムーブメントの創出

02 クラウドシステムによるデータの集積、活用



提案実現のための具体的な取り組み(アクションプラン)と実現可能性

01 戦略的プロモーション

- ① SNSを活用した多面的情報発信
プロジェクトチームを立ち上げ、運用ルールを策定
▷▷▷ 概ね1年以内の運用開始
- ② 体感(県産材の家)を通じた理解・納得の深耕
モデル事業からの拡大
▷▷▷ 概ね1年以内の運用開始
- ③ コンテストを通じた話題作り、ムーブメントの創出
▷▷ 予算を確保し1年度後に愛知県主体での開催

02 クラウドシステムによるデータの集積、活用

- ① 愛・クラ・ウッド
愛知県主体のクラウドシステム化 ▶ 3年後運用開始
- ② 家・クラ・マップ
事業者によるクラウドシステム化 ▶ 3年後運用開始

波及効果

表面侵食防止機能に換算すると
愛知県だけで25億円分の価値!

我々の事業提案により、約1,500haの森林が若返ることになる。

2030年目標達成
2,800ha

2030年なりゆき
1,300ha

2030年(仮定) 家の着工戸数34,204戸 木造率70% 県産材自給率50%

愛知県の森林面積
219千ha
= 日本全体(25,081千ha)
の約1%を占める

多面的機能区分	評価額(全国)
二酸化炭素吸収	108億円
化石燃料代替	20億円
表面侵食防止	2,458億円
表層崩壊防止	734億円
洪水緩和	563億円
水資源貯留	760億円
水質浄化	1,273億円
保健・レクリエーション	196億円